

提案14 泳ぎ・遊び・なごめる川づくり

概要

市街地では、ふれあえる身近な水辺が喪失

泳ぎ、遊び、なごめる魅力ある
水辺空間の創出

人々の生活に潤いと安らぎを



背景とシナリオ

- 背景 -

市街地の川の水質の悪化
 底質のヘドロ化
 大腸菌、透明度
 将来の大幅な人口減少

- シナリオ -

【水質浄化】

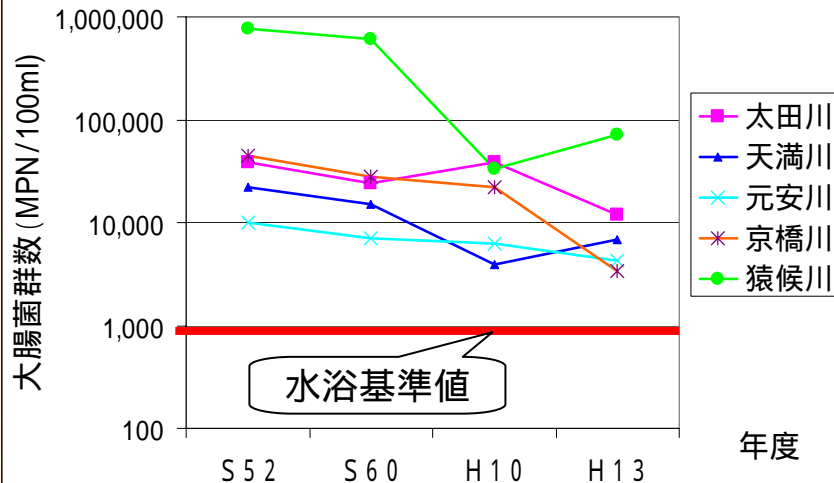
底質のヘドロ 白い砂に置換
 河川水を河川外に迂回 植生浄化

迂回路 : 空いた土地を湿地帯ビオ
 トープとして活用

迂回路 : 交通量の減少 幹線道路
 の一車線を「環状せせらぎ
 水路」として活用

合流式下水道の改善
 分流地区の雨水排水の水質改善
 高度処理の導入
 河川上流域の水質改善
 (農業集落排水、浄化槽)

大腸菌群数調査(広島市)

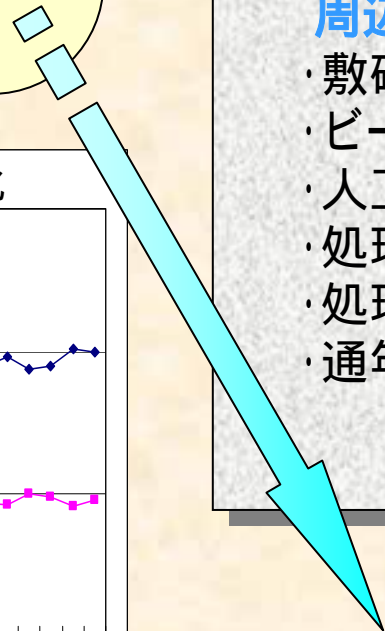


- 背景 -

現在の市街地には、身近にふれあえる水辺が少ない

大部分の地域は、川に比べ海水浴場は遠距離にある

現代社会はストレスも多く、物より心の豊かさが求められる



- シナリオ -

【身近に水辺を創造】

概ね1~2km以内の日常生活エリア内(徒歩自転車圏内)に配置 市街地に数か所整備
水上交通を整備 水上駅が水浴場と直結

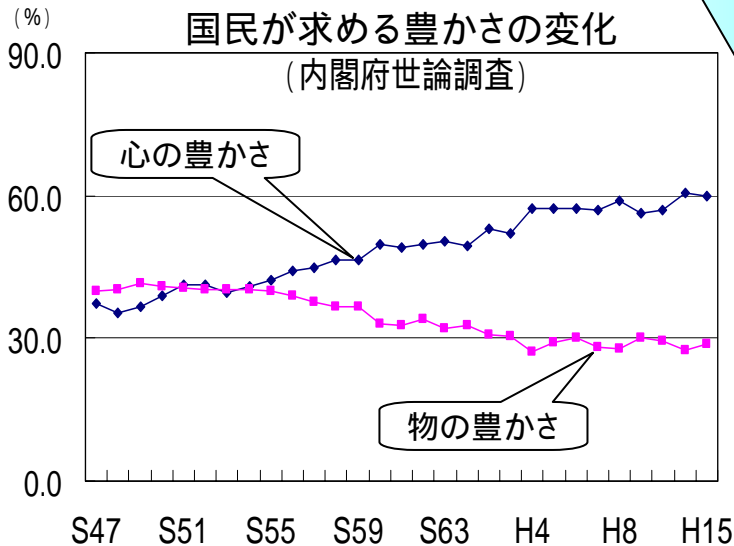
【泳げる川の整備】

水量の確保

- ・処理水の利用
- ・河川に水門を設置 小さなダム機能

周辺整備

- ・敷砂など人工ビーチの整備
- ・ビーチと一体の散策道や公園を整備
- ・人工島 遊具を設置、人工波を発生
- ・処理場を駐車場開放
- ・処理水をシャワーやトイレに利用
- ・通年利用 デートスポット、イベント、魚釣り



泳ぎ・遊び・なごめる川づくり

効果

川がきれいだった数十年前のように身近に泳げる場所を提供する
人々の生活に潤い、やすらぎ、癒しをもたらす



市街地で泳ぐ風景
昭和36年(広島市)

